

農作物病害虫発生現況情報（7月）キャベツ編

1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりも少なく推移した（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、7月第3半旬まで平年並に推移し、以降は平年よりも少なく推移した（図3）。
- (4) 7月中旬の巡回調査では、産卵、幼虫の発生ともに確認されなかった（産卵圃場率：平年39.8%、図4、幼虫発生圃場率：平年40.4%、図5）。

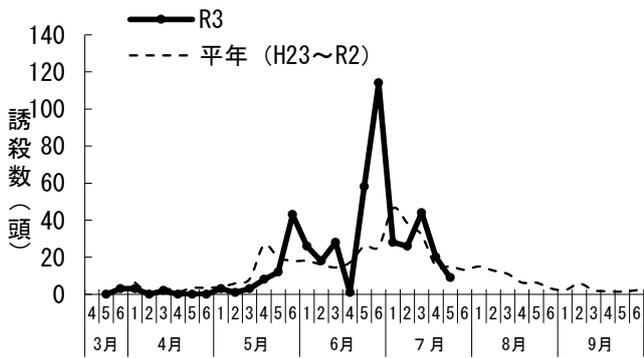


図1 基準圃場（北上市成田）におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

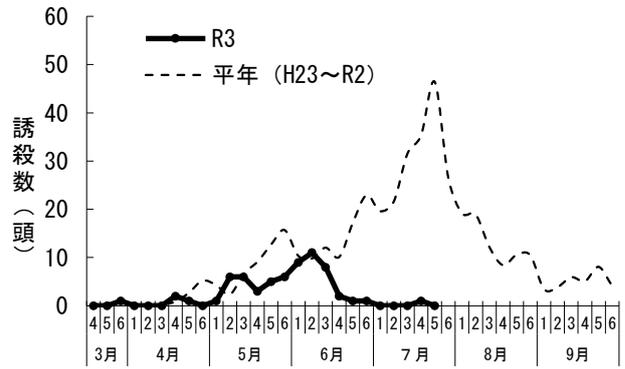


図2 軽米町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

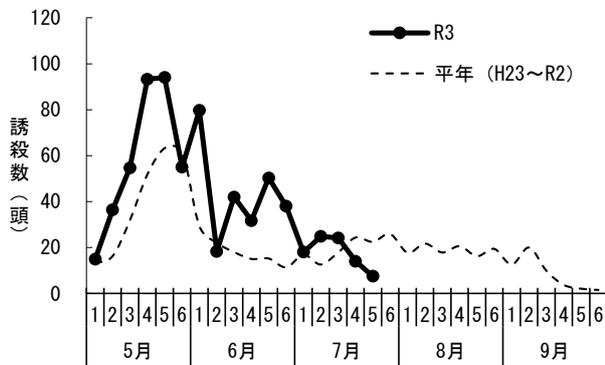


図3 岩手町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

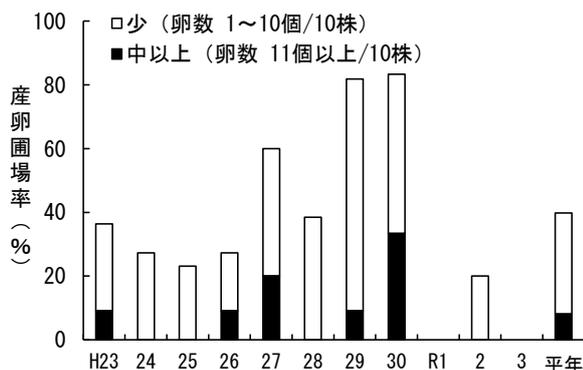


図4 コナガ産卵圃場率の年次推移（7月中旬）

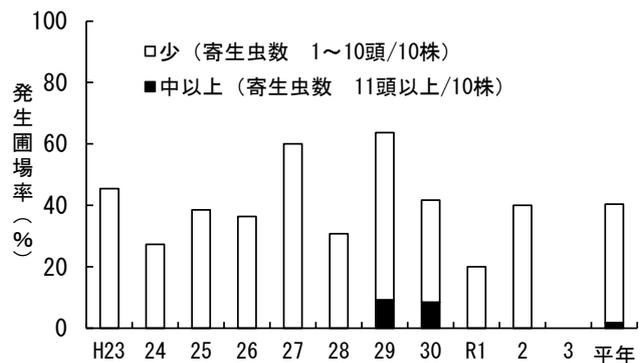


図5 コナガ幼虫発生圃場率の年次推移（7月中旬）

2 ヨトウガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、7月第5半旬に確認された（図6）。
- (2) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、7月には確認されなかった（図7）。
- (3) 7月中旬の巡回調査では、産卵は確認されなかった（平年7.2%、図8）。

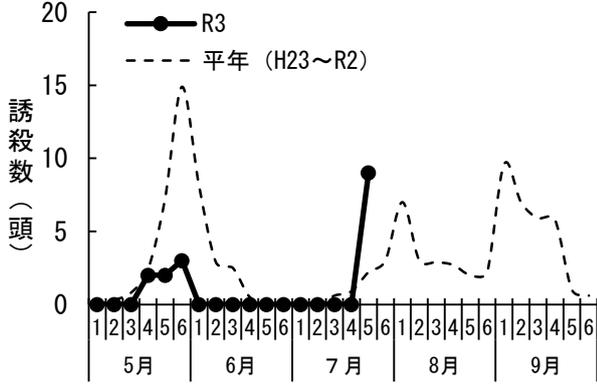


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガの誘殺状況

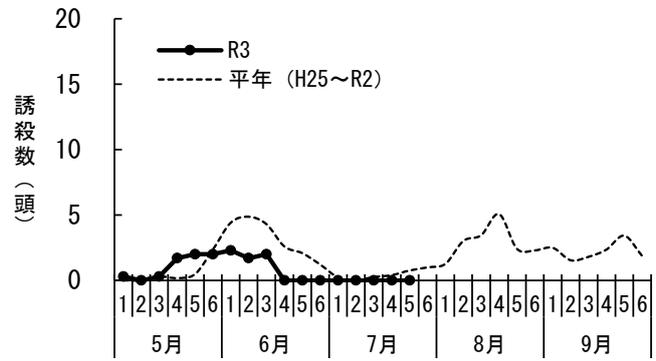


図7 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

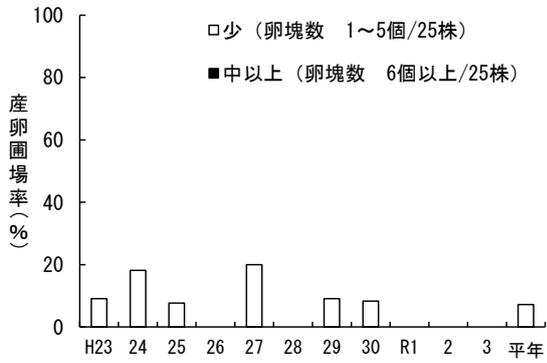


図8 ヨトウガ産卵圃場率の年次推移（7月中旬）

3 タマナギンウワバ

- (1) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年よりも少なく推移した (図9)。
- (2) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した (図10)。
- (3) 7月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は10.0% (平年17.8%) で、平年よりも低かった (図11)。

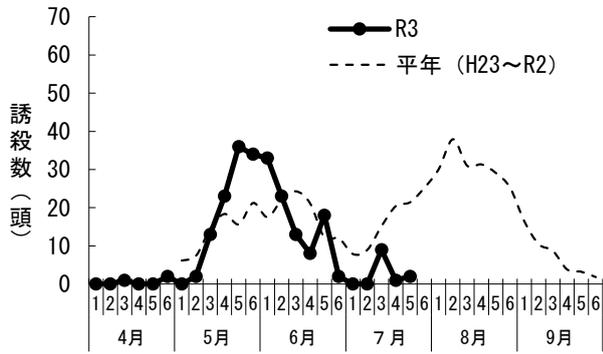


図9 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

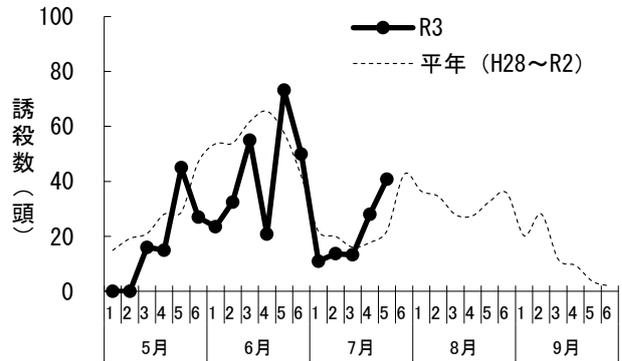


図10 岩手町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

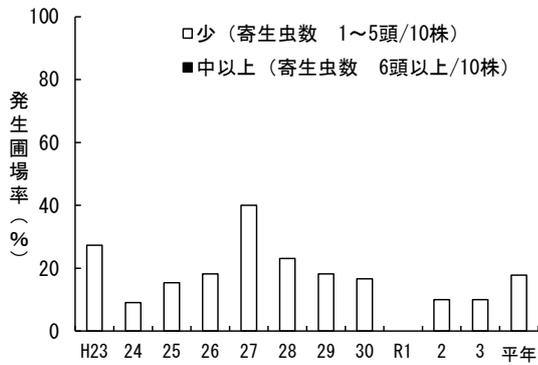


図11 ウワバ類幼虫発生圃場率の年次推移 (7月中旬)

4 モンシロチョウ

- (1) 7月中旬の巡回調査では、幼虫の発生圃場率は10.0% (平年33.5%) で、平年よりも低かった (図12)。

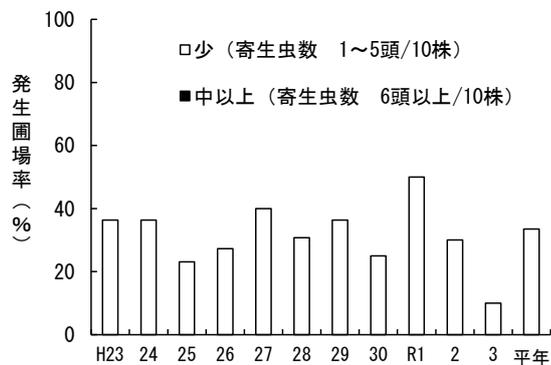


図12 モンシロチョウ幼虫発生圃場率の年次推移 (7月中旬)